



初等部だより 6月号

鎌倉女子大学初等部

令和2年6月11日

第3号

初等部 再開

部長 勝木 茂

6月1日(月)より、分散・時差を取り入れ初等部を再開いたしました。ほぼ混乱無く再開できたのは、保護者の皆様のご理解とご協力あつてのことと職員一同感謝しているところです。本当にありがとうございます。

今週12日(金)までの2週間で、一人当たり4日間の登校をしたこととなりますが、当初、緊張していた子どもたちも少しずつリラックスしてきたように感じられます。しかしながら、大人もそうであるように、長い間自粛生活を子どもたちも送ってきたわけですから、内面的に様々な影響を受けていることは明らかです。「○○しなさい」「○○はだめだよ」・・・、恐らくは、コロナウイルス感染拡大防止のためと、何となくは理解していても、ずっと否定的な言葉を聞き続けたり、やりたいことを止められたりしていると、心は思っている以上にダメージを受けていると考えられます。

言うまでもなく、これから新しい生活様式は不可欠です。そのことが必要なことについては、初等部においても継続して子どもたちを指導してまいります。大切なのは指導方法かと思えます。大人も含めて、はじめて経験することに適応していくには時間も必要です。また、個人差も当然あります。「うまく出来なくても否定的な言葉をかけないで励ますこと」「決して大声で指導しないこと」「どうすればよいのかその子にわかるように示すこと」等々・・・

来週(15日)からは、全員毎日の登校となります。特にここからの1か月間、初等部でも家庭でも同じ方向性で子どもたちをあたたく見守る姿勢が必要だと思えます。

さて、現時点でのこれからの初等部の教育活動の見通しについてお伝えしておきます。

文部科学省学校再開ガイドラインを基に、子どもたちの安全を確保した上で、先ずは「教育課程を確実に実施すること」、つまり「授業の実施」を優先いたします。初等部では、4月9日より全学年で映像授業の配信を行い、その授業数は550を超えました。授業進度という点では、その遅れはほぼありませ

ん。しかしながら、映像授業の配信は、はじめてのことですので、子どもたちがどのように学習に取り組んだのか、あるいは取り組めなかったのか、一定の学力は着いたのか着かなかったのか、現在、各学級担任が、お子さん一人一人の学習状況を確認しているところです。確認が出来しだい必要があれば、お子さんに補習等をお勧めする場合もあろうかと思えます。特に、一学期を7月31日(7月20日～31日は午前授業)まで延長いたしましたので、7月20日以降の午後を補習期間にしたいと考えております。もちろん可能な限りご家庭のご都合に合わせていきたいと考えておりますので、ご遠慮なく担任にご相談ください。なお、映像授業の配信は、今後、様々な場面で必要に応じて実施していく予定です。

次に主な学校行事についてですが、3年生以上の宿泊体験学習については、現時点で宿泊施設の受け入れが未定であるものや、体験プログラムの実施が不可能なものがあります。また、バスの中、宿泊施設での食事、入浴等が文部科学省のガイドラインにそったものとなるのか検討しているところです。実施可能か中止とするのかについては今しばらくお待ちください。なお、11月に予定を変更した6年修学旅行についても、現在バスを2台とするなど実施に向けて検討中です。運動会については、実施内容や方法を大幅に変更し、現時点では10月24日(土)に実施したいと考えております。その他、保護者会、授業参観、学習発表会等につきましても、コロナウイルス感染状況等により、実施の可否について、その都度お伝えさせていただくことになろうかと思っております。子どもたちも大変楽しみにしている、また、教育的価値の高い学校行事ではありますが、安全を第一とし判断してまいりますので、ご理解のほどどうぞよろしくお願いいたします。

来週20日(土)には、入学式を行います。当日、2年生以上は参加しませんが、新しく初等部の一員となった新1年生をみんなでお祝いしたいと思います。